

ハム・ソーセージでドイツと日本を結んだ
ヘルマン・ウォルシュケさんの紙芝居原画展と上演
2つの紙芝居でヘルマンさんの業績をたどる

ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡
1903年にドイツのシュタット・ホルツマインで生まれたヘルマン・ウォルシュケは、第二次大戦の終結後、帰国して東京に移り、1918年に日本に到着して定住しました。

大正時代から、彼は東京府麹町区（現・丸の内、有楽町線）に滞在し、ドイツの食料品店「ヘルマン・ソーセージ」を日本に広げることになりました。日本のソーセージ産業の発展に貢献しました。

1933年に、彼は東京府麹町区で「ヘルマン・ソーセージ」の支店を開業しました。その支店が、現在も「ヘルマン・ソーセージ」として営業しています。

第二次大戦後、彼はドイツに帰国して、食料品店「ヘルマン・ソーセージ」を再開しました。その支店は、現在も「ヘルマン・ソーセージ」として営業しています。

1983年に、彼は東京府麹町区で「ヘルマン・ソーセージ」の支店を開業しました。その支店は、現在も「ヘルマン・ソーセージ」として営業しています。

和歌山県和歌山市市民会館 活動室 和歌山県和歌山市市民会館
主催：ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡をたどる会 問い合わせ先：03-3489-0222 飯田

ヘルマン・ウォルシュケさんの紙芝居原画展と上演
小学校高学年以上向けパンフレット

日本にホットドッグを広めた！
ヘルマン・ウォルシュケさんの
紙芝居上演会 in 粕フェス

9/7 ヘルマンのおはなし
9/8 ヘルマンとソーセージ

2024年 9/7・8
上演時間 16:15~16:40

会場：泉の森会館 2F ギャラリー
入場料：無料

ヘルマン・ウォルシュケさんの紙芝居原画展と上演
小学校低学年向けパンフレット



ヘルマン・ウォルシュケさんの紙芝居原画展



ヘルマン・ウォルシュケさんの紙芝居上演
小学校低学年向け



ヘルマン・ウォルシュケさんの紙芝居上演
小学校高学年以上向け



2024年(令和6年)9月6日 読売新聞朝刊

ゼンフテンベルク市からの手紙



ゼンフテンベルク市文書館所蔵のイネス・ヤーン所長から今年8月に当会へ寄せられた手紙をご紹介します。

親愛なる飯田様

心のこもったお手紙ありがとうございました。文字を返っていただく喜びがありました。土曜は奥さん(お: 当会副会長)が、あなたのお手紙を大変上手に訳してくださりました。こつた努力の私たちが感謝の意を取り払ってくれるので、感謝のしにことごとお礼します。また田村実里子さん(お: 当会副会長)が、いつもゼンフテンベルク市文書館において貴会の資料をドイツ語に翻訳してくださっておりますこと感謝です。土曜、田村ご主人の献身的なお礼折りにより、私たちは日本におけるヘルマン・ウォルシュケさんの業績を知ることができました。

ヘルマンさんの足跡を調べているうちに、ゲームで遊ぶなら、どうしても採らぬピースが一つあったのです。それが、田村さんをはじめ、貴会のメンバーの方たちのご協力で、見つけ出すことができたのです。これは素晴らしい喜びでした。未だのピースとは、フリードリヒ・ウォルシュケさんの浮城上の位置づけでした。彼はヘルマン 2 世の子息だったのです。

そして、2024年6月に彼が文書館に来訪、次のようなニュースを伝えてくださいました。ヘルマン2世は昨年の3月に亡くなったこと、そして推定の外人居留地の候補地に選ばれたことなどを、私に白に知らせてくださいました。奥様は一年半すでに先立たれていたので、お慰めを申し上げます。

さて、私がヘルマンさんの貴会の名誉会員に推荐されていることですが、そのお申し出は大変お喜びのことであり、喜んでお受けしたいと思います。もし、この手紙を貴会の皆様のために翻訳して下さるなら、随分の喜びです。これまでの皆様のご協力により感謝申し上げます。貴会の皆様と飯田さんがこれからも変わらぬ絆やがに活動も続けられますよう切に願っております。

ゼンフテンベルク市文書館所蔵
イネス・ヤーン



ゼンフテンベルク市 N.L. 公刊資料集 (1700年前の写真資料より)



ゼンフテンベルク市、ワイルヘルムと聖母の像 (1700年前の写真資料より)

ゼンフテンベルク市からの手紙